

「JENESYS2018」中国高校生訪日団第1陣 参加者の感想（抜粋）

【Aコース 第1分団】

○日本訪問を通じて、より深く日本を理解することができた。訪問先の2箇所の高校では、日本の高校生達の熱意を感じた。直接彼らと交流し、互いの文化を紹介し合い、友情をはぐくんだ。訪問先では、東京五輪音頭や文化祭のステージ発表、授業などに参加した。私達の学校も日本同様、多彩な活動があり、学校生活は充実している。同年代同士、趣味などを紹介し合ったりして楽しく過ごし、互いに理解し、成長できた。

【Aコース 第2分団】

○今回訪問した熊本北高等学校と千葉君津高等学校では、授業体験や文化交流を通じて、日本の高校生の日常生活に触れた。授業では、「かわいい」活発な生徒達と、生態バランスにおいて酸素と二酸化炭素が人体に果たす重要な役割を学んだ。熊本で2年前に起きた地震の原因分析や仮説の検証などを行う授業にも参加した。また、課外活動では、中国とよく似た書道や茶道を体験。書道ではその奥深さや漢字の美しさを学んだ。中日両国の文化には異なる点も分かった。例えば、日本の茶道は先に甘い物を食べ、後で苦いお茶を飲むが、中国では逆である。

図書館で日本語に訳された繁体字版の『貞観政要』を見た時は感動した。

同時にまた、中日両国は一衣帯水の隣国であり、密接な関係があることを意識した。日本科学未来館では、日本のハイテクの発達を感じた。一生懸命勉強し、祖国を更に繁栄させ、強い国にしたい。

【Aコース 第3分団】

○今回の訪日交流のテーマは「人工知能の進化：現状と未来への展望」。私の頭の中で人工知能は単なる言葉の概念ではなくなり、より深く理解できた。現在、人工知能技術は飛躍的な発展をしていて、将来、職業大陸は機械化によって水没するだろう。人工知能の発展により一部の人の仕事がなくなったとしても、それは社会の進歩の産物であり、人類は自分の価値観を見直し、社会の新しい変化に適応しなければならない。

学校訪問のことは、熊本県立天草拓心高等学校、千葉県立長生高等学校ともに、細部まではっきり覚えている。歓迎会、閉会式、更には傍を通っただけでも、皆、私達にお辞儀をし、微笑みかけ、手を振ってくれた。片言の英語と漢字による交流だったが、笑顔が私達を温かな気持ちにさせてくれた。印象深いのは天草拓心高等学校のビジネス実務の授業での体験。名刺を作り終わった後、グループ内の生徒だけでなく、クラス全員が私達の所に来て、自己紹介をしたり、一緒に写真を撮ったりした。

高校時代にこのような外国の生徒と交流する機会を持つことができ、幸せに思う。歓迎してくれた日本の学校の先生・生徒皆に感謝している。

【Bコース 第1分団】

○今回の訪問は非常に楽しかった。訪日前は、慣れない環境で言葉も分からないので、内心不安だった。でも、出会った日本人は、高校生、スタッフ、ドライバーなど、皆私達に良くしてくれた。訪日前は、あまり魚が好きではなかったが、ホームステイ先の「おとうさん」「おかあさん」のおもてなしを受け、いろいろ食べてみたら、結構おいしかった。学校訪問はとても印象に残った。場が盛り上がりたらないのではと心配していたが、実際に会ってみると、言葉は通じなくても、皆フレンドリーで、心と心の距離は縮まった。積極的に私と交流しようと、共通の話題を探してくれた。一生懸命ジェスチャーをしてお互い疲れて汗も出たけれど、とても楽しく笑い合い、素晴らしい思い出となった。校内見学の時、元気一杯に文化祭の準備をしている女子生徒と出会い、自分も元気を

もらった。

今回の訪問で最も印象深かったのは、やはり日本人の真面目さとおもてなしの心。ドライバーは毎回一生懸命荷物を車に載せ、挨拶もしてくれた。ホテルのスタッフも、玄関で私達の出発を見送ってくれた。スーパーの店員も同様、日本語が分からず迷惑をかけたが、丁寧に答えてくれた。

【Bコース 第2分団】

○今回の訪問はとても有意義だった。日本の有名な観光地もたくさん訪問できた。学校訪問では、清風南海高等学校の生徒と交流し、日本式の高校の授業を体験した。先生はユーモアがあり、科学関連のビデオを見せてくれ、授業には活気があった。生徒達も明るく積極的で、人工知能やARの応用、ビッグデータ、AIの応用など、とても興味深かった。また、人工知能の大いなる未来を考えると、今後の学習や就職はこうした方面を重視する必要があるようだ。日本人は仕事熱心で綺麗好きだと聞いていたが、今回、自分の目で見る事ができた。日本到着後すぐ、日程や詳細な活動場所の地図など80頁に及ぶ冊子を受け取った。これだけを見ても、日本人の真面目さが分かる。日本の街はとても清潔で、ゴミ箱もゴミもほとんど見かけなかった。また、日本の観光地をたくさん見学し、東京スカイツリーからは日本の風景を一望、大阪城天守閣では日本の戦国時代を理解、大阪ガスの工場では進んだ技術を見る事ができた。

最も印象深かったのはホームステイ。「おかあさん」「おとうさん」は私達にとっても良くしてくれた。お好み焼きを一緒に作り、温泉に入り、夜は一緒に日本のカードゲームで遊んだ。「おかあさん」は私達を昆虫館に連れて行ってくれ、いろいろな昆虫を見て楽しく過ごす事ができた。お別れの時はとても悲しかった。今回の体験は一生の宝になるだろう。

【Bコース 第3分団】

○今回の訪問は非常に感慨深く、収穫が多かった。日本人の友情や温かさに感動した。ホテルでの行き届いたサービスを受け、毎日挨拶してもらい、慣れない環境への緊張感が和らいだ。ホテルを出発する時は多くのスタッフが私達に手を振ってくれた。

学校訪問やホームステイでも同様。奈良市の高校では、日本の生徒と英語の授業を受けた時、一緒にポスターを完成させ、積極的に英語で交流した。大変だったが、とても楽しく、新鮮な体験だった。最も楽しかったのはホームステイ。60歳くらいのおじいさんの家で、夫婦ともに優しくあった。一緒に夕食を作って食べ、和服を体験し、散歩もした。二人の生活がとても良く分かった。離村式では皆、目を真っ赤にしていた。受け入れ家庭がとても良くしてくれたので別れは辛かったが、交流を深めることができ良かった。

最も感動したのは、日本人が温かく、友好的だということ。これは学ぶべきだと思う。また、山の街・重慶とは違い、日本は非常に静かな国で、埃が少しもない。朝の街は人もまばらで、大きな声で話す人もなく、とても心地良かった。千葉工業大学やナレッジキャピタルで見た多くのおもしろい発明は、私達の生活に便利さと輝きをもたらしてくれるもので、視野を広げることができた。